

# 溝小だより

<https://mizonobe-kahoku.edumap.jp/>

河北町立溝延小学校

学校通信 No.361

2023.9.29

発行：校長 小林 聡

学校教育目標：ふるさとだいすき かしく つよく やさしく  
～つながりの中で わたしたちが創る 楽しい学校～

## 実りの秋は、変わる秋／変わっていく自分は、うれしい自分

暑い暑い夏がようやく終わり、爽やかな季節になりました。黄金色に輝く稲穂やたくましく生きる草花に学びながら、一年のちょうど折り返しのこの時期、半年間を振り返ってみました。

【それぞれの春】種を蒔き、土に隠れて何も見えない中、毎日水をあげました。そのうち芽が出て、ぐんぐん成長し、自分の背の高さと比べたり、きれいな花を観察したりしながら、ますます植物が好きになりました。



【夏の終わり】やがて実をつけ、中に入った種を見つけるのが毎日の楽しみになりました。たった1つの種から、数十個、数百個の実(種)をつけた稲やアサガオがそうだったように、子どもたちにも数えきれないほどの実り(変化=成長)がありました。



下級生がこぼしてしまったお汁をそっと拭いてあげたり、来校したお客様に「こんにちは」と爽やかに挨拶をしたり、歯を食いしばって土俵際でこらえたり、仲間と知恵を出し合ったり、大汗をかいて毎日おにごっこをしたり、…どちらが先かは人それぞれですが、「意識」と「行動」の両方が変わったのだと思います。



【実りの秋】秋は始まったばかり。

実りの秋は、変わる秋／変わっていく自分は、うれしい自分 です。

第4回授業研究会  
3学年 算数  
「かけ算のひっ算(1)」

## オーセンティックな学びの産物

オーセンティック…あまり聞きなれない言葉ですが、「本物の、真正の」と訳され、現実の暮らしと結び付けて考える大事な学びの方向性です。担任の山田教諭は、総合的な学習で子どもたちが大事に育ててきたオーガニック野菜(緑ナス、東京カボチャ等)を学習材にして、オーセンティックな算数の授業づくりに挑戦しました。課題は「みどりナス1個から263粒の種がとれた。みどりナスは8個あったね。種は一体いくつとれたかな。」既習の知識を使い、自分の方法で二桁や三桁の数のかけ算の仕方を考え、交流していきました。熱心に粘り強く学習に取り組む姿が本当に嬉しく思えました。2校時でこの授業は一旦終わりますが、Aさんには続きがありました。さらに正しい答えを出したくて中間休みも計算し、休み時間が終わるころ「これでいいかな。」と確かめに来たのです。それは自ら学びを進めたたくましく嬉しい姿でした。授業は終わっても、Aさんの学びは終わっていなかったのだと思います。私たちはこれからも、Aさんの姿が教えてくれたオーセンティックな学びを追求していきたいと考えています。



日頃から学校ホームページ(HP)をご覧ください、ありがとうございます。学校の様子は【学校ブログ】より、緊急にお伝えしたいことは【学校からのお知らせ】よりご覧になれます。ぜひご活用ください。

本校ホームページへ  
こちらからもどうぞ

